

「市民連合 めぐる・せたがや」野党共闘創りのプロセスと気遣い点

「市民連合 めぐる・せたがや」共同代表 鈴木国夫

1. 【第一ステップ】 選挙に関わる市民団体を確立する段階

- (1) 世田谷区の東が 6 区で、一部が目黒区と 5 区だが、一つの市民組織として制度設計した。
- (2) 都知事選を機会に生まれた世田谷勝手連だけでは、地域を代表していると言えないので、広く呼びかけ、2016/4/1 に設立した。労組団体や九条の会などが参加している世田谷版総がかり「戦争させない！ 9 条こわすな！ 世田谷連絡会」に加わっていたおかげで、イベントにも多く参加いただき、認知度が向上した。党派的な偏りが無いように気を遣っている。共同代表 3 名がバランスよく機能している。
- (3) ML に頼らず、ほとんど毎週会合を開きディスカッションすることで、統一性を保ちつつ、幅広い人たちが自由に活動できるようにしている。

2. 【第二ステップ】 政党と相互理解を深める段階

- (1) 候補者と接触を開始し、4/23 には各党候補者を招き、「これが市民の声だ。野党候補者に聴いてもらう会」を開催した。異なる党の政策優劣を評価し選択することが目的ではないので、市民の声を浴びるほど聴いてもらう企画とした。お互い共闘とは何かを考える大切な場となった。



<http://tokyo-chiki-net.jimdo.com/>

- (2) 4/30 の集会では、各党も参加して政策協定作りの協議開始を宣言した。



3. 【第三ステップ】 政策協定を作る段階

- (1) まず、市民側で委員会を作り、従来出されてきた市民要望と、参議院選での各地のお手本から協定原案を作成した。
- (2) 民進党、共産党、社民党と市民委員が複数参加して、10 名前後で案を揉んだ。難航する部分もあったが、お互いを尊重して意外と早くまとまった。交互に民進党、共産党の事務所を使ったこともその後の交流に良かった。その後の都知事選で一緒に街頭宣伝も出来、良い関係が生まれた。
- (3) 5/30 全国初！衆院小選挙区での野党候補一本化をめざす政策協定案の報告集会を開催した。(記念写真大事)。政策協定の締結は選挙本番で行う予定なので、市民案として公表した。



4. 【第四ステップ】 候補者一本化の段階

衆参同時選挙は無くなったのでこの段階には入らなかった。国政選挙の候補者調整は党本部同士が行うので、基本的には市民は関わらない。どちらの候補になっても統一候補として支援する。事前に一方に決め込む失礼は避ける。